

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

一般財団法人脳神経疾患研究所（証券コード：ー）

【据置】

長期発行体格付
格付の見通し

A－
安定的

■格付事由

- (1) 1 都 1 府 4 県で事業展開する「南東北グループ」の中核法人。附属総合南東北病院（本院、福島県郡山市）を軸に幅広い医療・介護サービスを手掛け、グループ計 9 病院と 2 千床以上の病床を有する。国内の民間病院では初めてがん陽子線治療施設の運営を開始し、20 年には病院併設施設として世界初のホウ素中性子捕捉療法（BNCT）治療に関連した診療を開始するなど、先進的な医療への取り組みに特色がある。グループのガバナンスや連携体制などを踏まえ、当法人の格付にはグループ全体の信用力を反映させている。
- (2) 福島県や川崎市を中心に強い競争力を維持している。当グループは適切な入退院管理などによる収入確保や支出抑制に注力している。医療機関の経営環境は厳しいものの、一定のキャッシュフロー創出力を保てると考えられる。財務構成は有利子負債の削減が進むなど改善傾向にある。なお、建設費用が増加していることから、本院の新築移転については財務面への影響と投資回収の蓋然性を十分に検討した上で進められると JCR ではみている。以上より、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- (3) 人材面では、先進的な医療への取り組みや豊富な症例数を背景に強い医師獲得力を有している。看護師の確保については事業の広域展開と採用を担うグループ法人を活かし、医療圏内での比較優位性を保っている。本院では手術室を増設したほか、高位の病床利用率を維持しながら在院日数の適正化を図っている。各種加算や指導料の算定強化に努めるなど、収入増に向けた施策が進捗している。今後の注目点は総合東京病院や BNCT の収支動向、政府の補正予算や 26 年度診療報酬改定等の医業・介護経営への支援策の実効性である。
- (4) 底堅い収益力や有利子負債の返済を背景に、キャッシュフローと有利子負債のバランスは緩やかながら良化していく見通しである。本院の新築移転は福島県県中医療圏での事業基盤の一層の強化とキャッシュフロー創出力の安定化につながるとの見方に変化はないものの、物価動向をみると、投資試算額は増大していると想定される。投資計画が具体化した後、事業・財務面への影響を確認していく。

（担当）佐藤 洋介・小野 正志

■格付対象

発行体：一般財団法人脳神経疾患研究所

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A－	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2025 年 12 月 16 日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：佐藤 洋介
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014 年 1 月 6 日) として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024 年 10 月 1 日)、「医療機関」(2023 年 8 月 1 日) として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 一般財団法人脳神経疾患研究所
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル